



禅寺の学問

— 継承される五山文学

相国寺の 歴史と寺宝Ⅱ

2021年 11月23日(火・祝) ～ 2022年 1月23日(日)

〔休館日〕2021年12月27日(月) ～ 2022年1月5日(水)

〔開催時間〕10時～17時(入館は16時30分まで)

〔拝観料〕一般800円(65歳以上・大学生600円・中高生300円・小学生200円)

※一般の方限り、20名様以上は団体割引で各700円

〔主 催〕相国寺承天閣美術館

〔協 賛〕一般財団法人 萬年会 鹿苑寺 慈照寺

相国寺承天閣美術館

Shokokuji Jotenkaku Museum

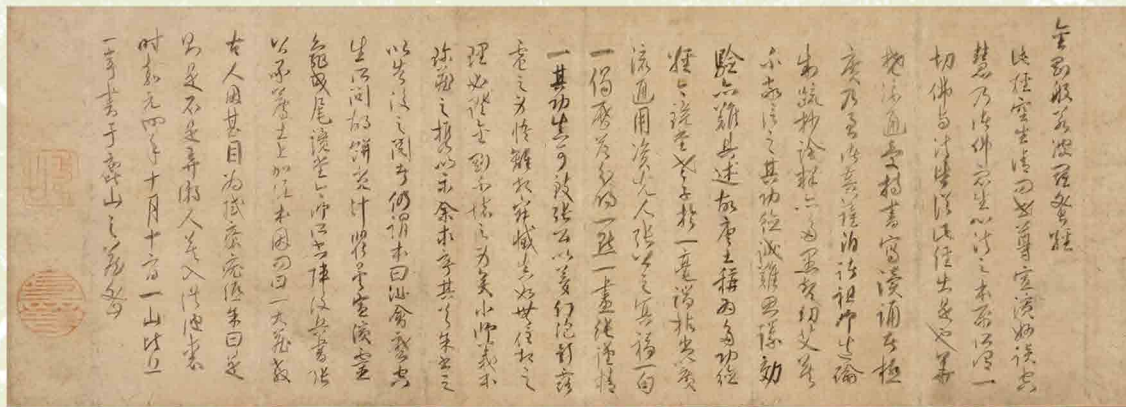
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 相国寺 電話:03-5561-1111



禅寺の学問

— 継承される五山文学

相国寺の歴史と寺宝Ⅱ



【初公開】重要文化財 一山一寧墨蹟 金剛經序 相国寺蔵

古代インドで誕生した仏教の教えは、中国を経て日本に伝えられました。その教えを学びに多くの禅僧が大陸に渡り、禅とともに大陸文化を日本にもたらしました。そのため禅僧は漢詩文に優れ、漢籍を教える師としても天皇家や公家と交流しました。

京都五山第二位の寺格を有する相国寺は、中世より漢詩文などに優れた禅僧を多く輩出した、五山文学の中心地でした。仏典(内典)のみならず、漢籍(外典)も多く有し、知識をもつて権力者たちとも深いつながりを持ちました。また、藤原惺窩をはじめ近世儒学者たちとの深い交流もうかがえます。禅僧の活躍は文芸面だけでなく、外交文書の作成など、政治的な実務も担っていたことでも示されます。

本展観では、初公開作品約四〇点をふくめ、相国寺や塔頭寺院に伝来する漢籍を確認し、禅寺に蓄積された知の体系を探ります。あわせて、相国寺の歴史を通観する展示、「相国寺の歴史と寺宝」の第二弾をお届けいたします。第一弾とはすべて異なる寺宝を展示いたします。ぜひ、ごらんください。



無学祖元頂相 春屋妙葩賛 伝趙子昂筆 慈照院蔵



十牛図 周文筆 相国寺蔵(部分)



隔裳記 鹿苑寺蔵



淡彩春景山水図 謝時臣 画賛 相国寺蔵



達磨図 春屋妙葩賛 伝義堂周信筆 鹿苑寺蔵



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会期の変更、入場制限を行う場合があります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。ご来館にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止にご理解とご協力をお願い申し上げます。

・来館時はマスクをご着用ください。
・美術館入口で検温を実施いたします。37.5度以上の発熱が認められた場合は入館をご遠慮ください。

【関連イベント】
当館ホームページでご確認ください。

- ▶ JR京都駅より京都市営地下鉄「今出川」駅下車 3番出口から徒歩8分
- ▶ 阪急電車烏丸駅より京都市営地下鉄「今出川」駅下車 3番出口から徒歩8分
- ▶ 京阪電車「出町柳」駅3番出口より 徒歩20分、
または市バス59・201・203号系統「同志社前」下車 徒歩6分
市バス102号系統(洛バス)「烏丸今出川」下車 徒歩8分

- 【表面図版】
- ・重要文化財 絶海中津墨蹟 十牛図 相国寺蔵(部分)
 - ・十牛図 周文筆 相国寺蔵(部分)
 - ・重要文化財 白楽天図 無学祖元賛 伝趙子昂筆 鹿苑寺蔵(部分)



【初公開】對馬以前眺望之図 慈雲院蔵

相国寺承天閣美術館
〒602-0898 京都市上京区今出川通烏丸東入ル
TEL 075-241-0423 <http://www.shokoku-ji.jp/>